

令和2年度取組状況

ものづくり工学科 機械システム工学コース 准教授 嶋崎 守

取組状況	
教育	<ol style="list-style-type: none">1. 講義授業において、実用例(振動工学Iでは高層建物制振用マスダンパを、機械システム制御I・IIでは、電気炉の温度制御)を示して授業を展開し理解につなげた。2. 実験実習では、特にレポート指導に重点を置き、分析力と考察力を育成した。3. 卒業研究・ゼミナール指導においては、毎週、研究会を実施して進捗状況を報告させた。その結果、研究の基本的な進め方を理解させることができた。
研究	<ol style="list-style-type: none">1. ラム波を用いたボルト締結構造の緩み検知手法について検討した結果、ボルト周辺にラム波を伝播させ検知する手法を確立した。2. アクティブ免震構造について解析的に検討し、従来のパッシブ免震構造の性能を大幅に上回ることが可能であることが判明した。今後はこの結果をモデル実験で実証することを課題とする。
社会貢献	<ol style="list-style-type: none">1. 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 大型耐震実験施設運用委員2. 日本機械学会 機械力学・計測制御部門 運営委員3. 日本機械学会 関東支部 代議員4. 日本振動技術協会 出版・広報委員